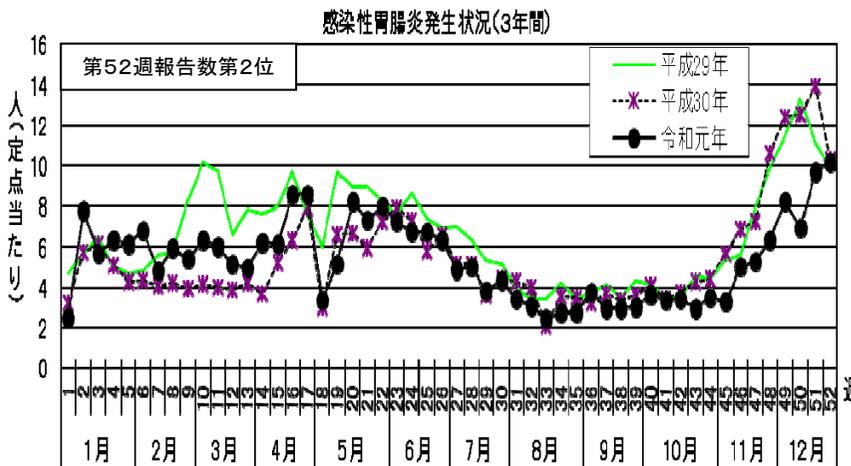
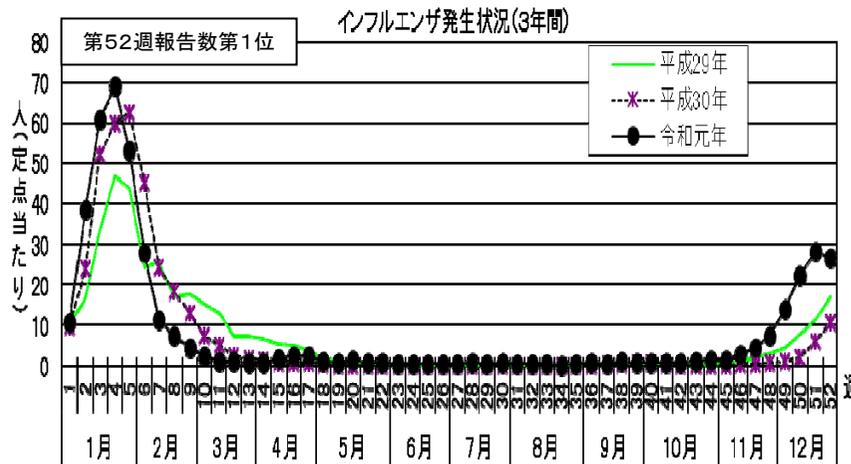


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和元年12月23日（月）～令和元年12月29日（日）〔令和元年第52週〕の感染症発生状況

第52週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は26.59人と前週（28.36人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は10.14人と前週（9.68人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は3.49人と前週（5.11人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。



海外旅行後の体調の変化に御注意ください！

年末年始を海外で過ごされた方も多いかと思います。渡航中は、環境の変化などから体調を崩される方も多く、海外旅行に行った方の半数以上が旅行先で消化器症状を呈したり、発展途上国から帰国した人の2～3%に発熱がみられるといわれています。帰国後、体調不良を感じた際は早めに医療機関を受診するとともに、症状だけでなく渡航先や滞在期間なども必ず伝えましょう。
 なお、国内では依然としてインフルエンザが流行しています。咳エチケットや手洗いなどの予防対策を徹底しましょう。

中華人民共和国湖北省武漢市における原因不明肺炎の発生について

令和元年12月以降、中華人民共和国湖北省武漢市において、原因不明の肺炎が複数報告されています。

現時点では医療従事者の感染や死亡例の報告はありませんが、特に武漢市に滞在歴のある方は、帰国後数週間は健康状態を観察し、呼吸器症状がみられる場合は、マスクの着用や咳エチケットなど十分な注意をして医療機関を受診してください。

湖北省武漢市



海外で注意しなければいけない感染症

【発熱をきたす感染症】

麻疹、風疹、デング熱、マラリア、チクングニア熱など



発熱が続くなど全身状態が悪い場合は重症化の可能性もあります。

【発疹をきたす感染症】

麻疹、風疹、デング熱、チクングニア熱など



かゆみを伴うものはアレルギーの可能性もあります。

【下痢をきたす感染症】

細菌性赤痢、腸チフス、コレラなど



激しい腹痛や血便等がみられる際は特に御注意ください。